

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(令和3年度実施計画分)事業実績及び効果検証

	事業名	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金充当額	事業実績	効果検証
1	感染予防用品購入事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、必要となるマスク、消毒液、ペーパータオル、パーテーションなどを購入	R3.4	R4.3	3,801,784	3,801,784	消耗品費:3,801,784円 透明PET衝立、自動手指消毒器、アルコール消毒液、ペーパータオル等	新型コロナウイルス感染症対策用品を整備したことで、クラスターなどの感染拡大を防ぐことができた。 庁舎等でのクラスター発生件数:0件
2	コロナ対策避難所用品購入事業	避難所における新型コロナウイルスの感染防止を図るため、対策に必要な物品を購入	R3.4	R4.3	5,353,772	5,353,772	消耗品費:3,393,610円 避難所用間仕切りテント、抗原キット、パーテーション、体温計等 備品購入費:1,960,162円 空気清浄機、テレビ、タブレット型サーマルカメラ	新型コロナ感染症対策用の物品、及び分散非難するために必要な避難所用品を整備することができた。
3	町営バス感染症対策用品整備事業	町営バスの運行における新型コロナウイルスの感染防止を図るため、対策に必要な物品を購入	R3.4	R4.3	660,560	660,560	・消耗品費:660,560円 アルコール消毒液、パーテーション	新型コロナウイルス感染症対策用品を整備したことで、クラスターなどの感染拡大を防ぐことができた。 町営バス内でのクラスターの発生件数:0件
4	Web会議システム環境整備事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種会議を各施設から参加できる環境を整え、三密となることを防ぐ	R3.7	R4.2	2,335,850	2,335,850	・備品購入費:1,441,110円 パソコン整備台数:11台 ・消耗品費:163,240円 webカメラ整備個数:28個 ・委託料:731,500円 設定箇所:町内5保育所、中央公民館	整備されたWeb会議システム環境により、内部会議(課長会、保育所長会)、職員研修、外部会議を開催・参加ができるようになり、三密を防ぐことができた。 開催回数:67回
5	若桜鉄道感染症拡大防止対策事業	若桜鉄道の運行における新型コロナウイルス感染防止対策に必要な物品を整備を委託	R3.9	R3.11	49,900	49,900	・委託料:49,900円 抗ウイルスマスク、防護服、消毒液等を整備。 100,000円×八頭町持株比率49.9%=49,900円	整備された感染症予防対策用品を利用して、新型コロナウイルスを起因とする減便・運休0本を維持することができた。
7	若桜鉄道運行支援給付金事業	新型コロナウイルス感染拡大により深刻な影響を受けている若桜鉄道を支援し、今後の事業継続を後押しするため、鉄道事業全般に対する給付金を支給	R3.9	R4.2	2,000,000	2,000,000	・補助金:2,000,000円 新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ減収を支援し、事業全般に活用できる給付金を交付した。 R元対比減収20%以上確認し、補助率上限2,000千円交付。	支援された給付金を運行経費に充当し、安心安全な公共交通の維持に寄与した。 運休・減便本数:0本
8	若桜鉄道観光列車ツアー誘客応援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ若桜鉄道観光列車を活用した観光需要を喚起するため、主に観光シーズンに催行される旅行事業者主催のツアーに対し観光列車貸切プラン料金の一部を補助	R3.8	R4.3	599,399	599,399	・補助金:599,399円 対象経費1,201,200円×八頭町持株比率49.9%=599,399円 第6波以降の観光需要を喚起させ、R3.9-R4.3までに計21回のツアーを実施。	デイトリップや近隣市町の利用が増え、新たな需要の創出につながったほか、ウィズコロナ時代を見据えた新たな観光コンテンツの造成につながった。

	事業名	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金充当額	事業実績	効果検証
10	まちづくり委員会感染予防用品購入事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、必要となるマスク、消毒液、ペーパータオル、自動消毒液などの衛生用品等の購入	R3.4	R4.3	756,882	756,882	・需用費:756,882円 まちづくり委員会用感染対策用品の購入。 消毒液、アクリルパーテーション、ペーパータオル等	感染対策用品を活用することで、まちづくり委員会の活動によるクラスターの発生及び新型コロナの感染を発生させることを防ぎ、安全な活動を維持することができた。 まちづくり委員会の活動による新型コロナ感染者:0名
11	就労継続支援事業所活動支援補助金	新型コロナウイルス感染拡大により深刻な影響を受けている、町内の就労継続支援事業所を支援するため、生産活動に必要な費用を支援(1法人あたり上限50万円)	R3.7	R4.3	1,500,000	1,500,000	・補助金:1,500,000円 500,000円×3団体	就労継続支援事業所に対して補助金を交付することで、コロナの影響により一定以上減収となった町内の就労継続支援事業所3団体の活動存続を支援することができた。
12	インフルエンザ予防接種費用助成事業	秋・冬季に蔓延しやすいインフルエンザを予防することで、新型コロナウイルス感染症との同時流行による医療体制の逼迫化を防ぐため、インフルエンザの予防接種に係る自己負担を無料化する	R3.10	R4.3	7,943,060	7,943,060	・委託料:7,943,060円 高齢者インフルエンザ接種率:70.1% 小児インフルエンザ接種率:63.3%	小 対象者の接種における自己負担金を無料とすることで接種率の維持・向上に努め(R1年度対比で高齢者分2.0ポイント増、小児分2.3ポイント減)、インフルエンザと新型コロナウイルス同時流行による医療体制の逼迫を予防できた。
13	介護サービス事業者サービス提供支援事	介護サービス事業所が必要なサービスを継続して提供することができるよう、事業者が行う新型コロナウイルス感染症対策に要する経費の一部を助成	R3.4	R4.3	7,269,000	7,269,000	補助金:7,269,000円 介護サービス事業所へ助成を実施。 1,000千円×6法人 639千円×1法人 630千円×1法人	介護サービス事業所が感染症対策を徹底した上で必要なサービスを継続して提供できるよう、感染症対策の取組を支援した。取組事業所でのクラスターの発生件数は0件であり、感染症対策の効果が出ているものと考えられる。
14	医療機関における感染症拡大防止等支援事業	町内診療所(医科、歯科)が必要なサービスを継続して提供することができるよう、事業者が行う新型コロナウイルス感染症対策に要する経費の一部を助成	R3.5	R4.3	4,616,000	4,616,000	補助金:4,616,000円 医療機関への助成を実施。 500千円×8機関 411千円×1機関 205千円×1機関	各医療機関が感染症対策を講じられるよう助成し、事業継続できるよう支援を行った。年度中、休院した医療機関はなく、医療提供を継続をさせる一助になったと考えられる。
15	「家族でおいでやず 八頭町」キャンペーン事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内事業者等を支援するため、新型コロナウイルス感染症の影響による旅行ニーズの変化(「疎」・「自然」等の重視化)に対応した誘客促進と町内消費喚起を図るキャンペーンを実施	R3.6	R4.3	5,501,000	5,501,000	・委託料:5,501,000円 シールラリー応募:832件(応募者688人) PR看板・横断幕設置:2箇所	ウイズコロナ時代の観光交流推進策として、「家族でおいでやず 八頭町」をスローガンとした誘客・周遊促進事業を実施。町内周遊シールラリーやPR看板・横断幕の設置、SNS発信を実施。シールラリーには832通(応募者688人)と1ヵ月平均約150名の応募があり、コロナ禍においても身近な外出先として八頭町が認知されたと言える。景品として八頭町の特産品や観光体験、町内店舗で使用可能なクーポン券を設定することにより、再来町に繋がる等、一度に留まらない多層的なPR・誘客が図れた。

	事業名	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金充当額	事業実績	効果検証
16	コロナ禍の屋外型・周遊促進イベント開催事業	新型コロナウイルス感染症の影響下のなか、3密対策を講じたうえで、町内周遊型リアル謎解きイベントを1か月程度実施し、近隣市町ファミリー層の誘客促進を図る	R3.7	R4.1	4,500,000	4,500,000	・委託料:4,500,000円 謎解きイベント参加者:748人	「ウィズ・アフターコロナ」時代に対応した観光振興策として、町内周遊・観光ができる「謎解きゲーム」を主としたイベントを開催。町内4施設を巡る謎解きゲームには計748名が参加し、近隣市町からの誘客が図れた。またイベントについて委託先である新聞社の記事に4回、広告に3回、社告に1回掲載することで、町としての情報発信も図れた。
17	オンライン講演体制整備事業	3密対策のため、リモート講演会やリモート放送等を実施するため必要となるビデオカメラやインターネット環境などの整備を実施	R3.5	R4.3	871,200	871,200	・需用費:81,620円 ビデオカメラ付属物品、卓上パーテーション6枚 ・工事請負費:286,330円 ネットワーク整備工事 ・備品購入費:503,250円 プロジェクター1台、ビデオカメラ1台、ワイヤレスマイク3本 体制整備箇所数:1箇所	講演会や放送等をリモートで実施するために必要物品等を整備し、3密を回避した感染防止に配慮した事業が実施できた。 R3オンライン講演会、研修会、ライブ配信等の実施回数:5回
18	感染症予防に配慮した修学旅行実施支援補助金	小中学校が修学旅行を実施する際に、移動車両内における密を防ぐため、貸切バスの台数を増やす等の対策を講じたり、感染症予防のため修学旅行をキャンセルする費用に対する補助を行う	R3.8	R4.3	478,501	478,501	・補助金:478,501円 郡家東小学校:220,000円 郡家西小学校:230,985円 船岡小学校:27,516円	バスを増便、大型にすることによって、感染の防止を行うことができた。 修学旅行を起因とするクラスターの発生:0件
19	集落公民館改修補助事業	集落公民館の機能を強化する改修(空調整備・改修、トイレ洋式化)の補助率を嵩上げすることで、集落の公民館を避難所としても活用できるようにし、避難場所の分散化を図り三密状態を防ぐ	R3.4	R4.3	12,379,000	12,379,000	補助金:12,379,000円 交付件数:37件	空調・トイレの整備・改修の補助件数については、H27～R1の5年間は平均4件/年であったが、補助率を嵩上げたことでR3年度は37件となり、比較すると約9倍となった。 集落公民館の環境整備が図られ、避難所としても十分活用できる公民館が大幅に増え、三密状態を防ぐための避難時の分散化が可能となった。
20	若桜鉄道コロナ対策実証運行補助事業	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら運行を行う実証運行に対して、出資自治体による実証運行経費補助を実施	R3.10	R4.3	171,000	171,000	・補助金:171,000円 鳥取県と鳥取市、若桜町と共同で、感染症対策を行いながら運行を行う実証運行に対して経費の支援を行った。 補助対象経費1,575,864円×八頭町出資割合43.53%×補助率1/4=171,000円	支援された補助金を実証運行経費に充当し、経営圧迫による減便・運休0本を維持した。また、鉄道施設の新たな活用方法を見出した。(啓発列車、スタジオ利用)

	事業名	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金充当額	事業実績	効果検証
22	町内事業者応援商品券発行事業	新型コロナウイルス感染症の影響により収益の減少が見込まれる町内事業者を支えるため、8月1日時点の全町民(対象人数:16,637人)へ町内利用商品券(1人当たり5千円)を発行し、消費喚起を図る	R3.8	R4.3	90,483,517	90,483,517	・委託料:90,483,517円 (内訳)換金資金部分:84,946,050円 事務費部分:5,537,467円 商品券配布対象住民:16,615人 商品券事業参加店舗:150店舗 商品券使用率:98.0%	町民に対し指定店舗で使用可能な商品券を配布することで、消費喚起を図り新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内事業所の経営を下支えた。配布した商品券の内98%が使用されたことから、消費喚起が図れたと言える。普段使用しない店舗での利用を促すことで、認知度向上が図れたという店舗の声もあった一方、一部住民からは「地域によって商品券が利用できる店舗が少ない」という声もあったため今後に生かしたい。
23	町内観光・宿泊施設等利用料補助	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいる町内観光需要を喚起するため、町内施設宿泊、観光に係る費用の一部を助成	R3.7	R4.3	9,153,442	9,153,442	・補助金:9,153,442円 交付対象:18事業者(73件)	新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ観光客需要を補うため、鳥取県民等利用時の観光・宿泊費用を割引(補助)することで観光需要を喚起し、観光・宿泊事業者の事業継続に寄与した。新型コロナが原因となる観光・宿泊事業者の倒産はR4.3月末時点で0件であり、事業継続を支援できたと考えられる。
24	成人式開催に係るPCR検査事業	成人式参加対象者に対してPCR検査に係る費用を負担することで、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図り、安心・安全な式典の開催に繋げる	R3.11	R4.2	3,989,040	3,989,040	・PCR検査等業務委託料:3,989,040円	成人式参加者全員にPCR検査を実施し、感染防止に配慮しながら2年分の式典を開催する事ができた。式典後に新型コロナウイルス感染症に感染したとの連絡は0件であり、PCR検査の効果が出ているものと考えられる。 参加人数:R3年(延期開催分)77人、R4年127人
25	学校保健特別対策事業費補助金	小・中学校における新型コロナウイルスの感染防止を図るため、対策に必要な物品を購入	R3.4	R4.3	4,634,117	2,317,117	・消耗品費:822,602円 消毒液、サーキュレーター、パーテーション等 ・備品購入費:3,811,515円 空気清浄機 等	必要物品を購入し、学校施設における感染症防止対策を行うことができた。
26	投票所感染予防用品購入事業	選挙時に投票所での新型コロナウイルス感染症への感染を防ぐため、使い捨て鉛筆、アクリルパーテーション、消毒液、マスク等の感染予防用品を購入	R3.4	R3.4	418,733	418,733	・需用費:418,733円 使い捨て鉛筆、手指消毒液、マスク、ペーパータオル、飛沫防止衝立 期日前投票所(3箇所) 当日投票所(18箇所)	必要物品を購入し、投票所における感染症防止対策を行い、投票における安全・安心の確保に配慮することができた。 投票所でのクラスター発生件数:0件
27	派遣選手PCR検査補助事業	県外選手も参加する大会に派遣した選手に対し、大会参加後のPCR検査費用を補助することにより感染の拡大を防ぐ	R3.8	R4.1	1,100,000	1,100,000	・補助金:1,100,000円 大会に派遣した選手へのPCR検査費用の補助を実施した。 補助学校数:1校(2件)	大会後に感染した生徒は0人であり、中国・全国大会等に派遣する選手の安心安全と感染拡大の防止を図れた。
28	eラーニング教材活用事業	学校以外でも児童生徒が学習できる環境を整えるため、eラーニング教材を引き続き活用する	R3.4	R4.3	1,869,120	934,560	・使用料:1,869,120円 小学校4校 1,251,360円 中学校1校 617,760円	町内小中学校の全生徒がeラーニング教材「すらら」を使用できるアカウントを取得し、学校及び各家庭において自発的に学習できる環境を整備することができた。

	事業名	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金充額	事業実績	効果検証
29	事業継続奨励事業	新型コロナの影響による売上減少等により企業活動に支障が生じている町内事業者(飲食・宿泊)に対し、企業活動の継続及び雇用維持を支援	R3.11	R4.2	9,500,000	4,750,000	・給付金:9,500,000円 交付対象:24事業者(28店舗) 奨励金種別: 【売上減少支援型】 200千円×24店舗=4,800千円(飲食店) 200千円×2店舗=400千円(簡易宿所) 500千円×1店舗=500千円(ホテル旅館50人以上) 2,000千円×1店舗=2,000千円(ホテル旅館200人以上) 【コロナ安心対策認証事業所支援型】 100千円×18店舗=1,800千円	新型コロナウイルス感染症の影響で売上が減少する等経営が悪化している、または新型コロナ感染防止対策に取り組む飲食・宿泊事業者に給付金を交付することで、事業継続や雇用の安定に寄与した。 新型コロナが原因となる飲食・宿泊事業者の倒産はR4.3月末時点で0件であり、事業継続及び雇用の安定を支援できたと考えられる。
30	受験生等抗原キット配付事業	県外大学等を受験された方に対して、帰省後の受診遅れや日常生活を営む上での不安解消及び経済的負担軽減のため、希望者に抗原検査キット(体外診断用医薬品)を配付	R3.11	R4.3	147,312	147,312	・役務費 2,772円 郵送料 ・需用費 144,540円 抗原検査キット	全国的に抗原検査キットが不足する時期もあったが、全希望者への配付数を確保することができ、受診遅れによるコロナ感染拡大リスクの低減や不安解消を図ることができた。 検査キット配付数:73個
31	小中学校オンライン授業用パソコン整備事業	新型コロナウイルスの感染による臨時休校時に、オンライン授業を実施する場合に必要な授業配信用パソコンを整備し、学習機会を確保する	R4.2	R4.3	4,622,200	4,622,200	・備品購入費:4,622,200円 ノートパソコン小学校46台 " 中学校18台	町内小中学校の全ての普通教室(64室)に授業配信用のノートパソコンを1台ずつ配置し、全クラスでオンライン授業を配信できる体制を整備することができた。
32	スクールバス感染症対応事業	スクールバス内での新型コロナウイルスの感染症の感染防止を図るため、必要部品の購入及び車内に飛沫防止シートの取付を行う	R3.10	R4.3	415,895	415,895	・消耗品費:14,736円 消毒液保管用ポリ容器、アルコールシート、保管バック、アルコール消毒液、ボトル、ペーパータオル等	新型コロナウイルス感染症対策用品を整備し、定期的な感染防止対策を図ったため、スクールバス内でクラスターの発生を防止できた。 スクールバス内でのクラスター発生件数:0件
33	議会感染予防対策事業	議会での新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、会議室へのアクリル板設置、会議時に使用するマイクの増設を行う	R4.2	R4.2	625,790	625,790	・消耗品費:153,340円 パーテーション20個 ・備品購入費:472,450円 ワイヤレスアンプ2台、ワイヤレスチューナー4台、ワイヤレスマイク6本、有線マイク3本。	議会でのクラスター発生件数は0件であり、感染予防対策が図れたと考えられる。
34	若桜鉄道燃油価格高騰対策支援事業	新型コロナウイルス感染拡大による深刻な影響と燃油価格の高騰の影響を受けながらも、町民の生活や経済活動を支える重要な社会インフラとして運行を継続している公共交通事業者に対し、燃料費上昇分に相当する額を支援	R4.3	R4.3	1,000,000	1,000,000	・補助金:1,000,000円 原油価格高騰により経営を圧迫した経費を支援し、現行タイヤの維持に必要な支援を行った。 R元対比上昇率20%以上確認。補助率上限1,000千円交付。	交付された支援金を燃油代購入費に充当し、経営圧迫による減便・運休0本を維持することができた。

	事業名	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金充当額	事業実績	効果検証
35	町内小学校ICT支援員配置事業	新型コロナウイルス感染症による臨時休校の際のオンライン授業時に適切に授業配信を行うため、またGIGAスクール構想における一人1台端末を有効に活用するため、各小学校を巡回するICT支援員を配置	R3.4	R4.3	3,717,120	3,717,120	・委託料:3,717,120円 小学校4校	ICT支援員2人が各小学校を毎週1回巡回し、児童一人に一台配備したタブレット端末を活用した授業実施及び授業のオンライン配信手順の説明等体制強化に向けた支援を行うことができた。
36	コロナ禍における「生理の貧困」対策事業	新型コロナウイルス感染症の影響による経済的な理由で生理用品を購入できない方、また親に要求しにくい環境にある子どもの「生理の貧困」問題の対策として、町内施設及び学校の女子トイレに生理用品を設置し無償配布する	R3.5	R4.3	99,792	99,792	・需用費:99,792円 生理用品 配布箇所:各庁舎、中央公民館、図書館、男女共同参画センター、観光協会(郡家駅内)、小中学校	匿名での配布としているため、アンケート等による個々人の経済的負担軽減の状況は確認できないが、生理用品の現物支給を行うことで経済的負担の軽減を行うことができた。 (昼用・夜用各1P/セット)216セット配布
37	小中学校感染症対策授業用備品整備事業	GIGAスクール構想の推進や、新型コロナウイルス感染症による臨時休校の際のオンライン授業や三密を避けた授業の実施等に対応するため、町内小中学校に必要な物品を整備する	R4.3	R4.3	3,838,670	3,838,670	・備品購入費 3,838,670円 ワイヤレスマイク10個、マイクミキサー1台、アンプスピーカーセット1組、キャリングアンプ用品1組、液晶ディスプレイ1台、液晶プロジェクター2台、電子黒板6台、ノートパソコン2台	町内全ての小中学校(小学校4校、中学校1校)がそれぞれ必要とする音響・ICT機器を配置し、オンライン授業を配信できる体制及び三密を回避できる授業実施体制の整備することができた。
38	主食用米次期作支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響等で令和3年度の米価が全国的に下落していることから、令和4年度以降も米生産農家が安心して営農を継続できるように支援を行う	R4.2	R4.5	36,734,920	36,734,920	次期作支援交付金:36,728,100円 手数料:6,820円 R3における30a以上の主食用米を作付した農家を対象に次期作支援として5,000/10aを交付。	R3年度における30a以上の主食用米作付農家数は488件であった。本町の令和4年産主食用米の取組については、全国的な人口減少に伴うコメの需要量の減に加え長引く新型コロナウイルス感染症の影響で多くの米生産者の離農が懸念されていたが、次期作支援交付金を交付したことにより、自然減の範囲での生産者の減少にとどめることができた。 R4年度30a以上米生産農家数:466件 ※近年の30a以上米生産者の減少数:20件前後。